



同窓会報

2018年7月 < 年1回発行 >
 発行
 県立尼崎中学・高等学校 同窓会
 発行責任者
 同窓会長 石井良昌



「本校創立95周年に思う」



同窓会会長

石井良昌

(36回生)

本年11月17日(土)午後1時から都ホテル ニューアルカイクに於いて、創立95周年祝賀会が開催します。

この祝賀会の実行委員長には今まで色々
 とご準備頂きました大西俊樹氏が担当され、
 記念事業として①母校県尼への寄贈として
 本館2階の調理実習室空調設備、②同窓会ホ
 ームページの新規開設と全会員へのID及
 び会報発送、③祝賀会式次第(内容を含む)
 を実行委員会として協議を重ね決定されて
 おります。当日の講演として前尼崎市教育長
 の徳田耕造氏(42回生)による「尼崎の教
 育のこれまでと、これから」を開催いたしま
 す。同じ学校で学んだ一体感の中、お互いに
 一層の友情を深め、楽しい交流の祝賀会にな
 りますように、多くの卒業生の皆さまのご参
 加をお願い致します。

最後になりましたが、本校の多くの卒業生
 の中には日本のリーダーとして活躍されて
 いる方も多数おられます。これも偏に歴代の
 校長先生をはじめ教職員の皆さまのご指導
 とご尽力のお蔭と深く感謝いたしております。

私たちが暮らす今の社会は、少子高齢化、
 高度化した産業のIT化、人口知能化、グロ
 ーバル化など世の中が目まぐるしく変化し、
 先が見にくい不透明な時代だと言われてい
 ます。こういう時代だからこそ「県立尼高精
 神を」という校風を活かして「生きる力」を
 しつかりと身につけ新しい変化に適応して
 いくべきだと思います。今の世の中、自分さ
 えよかつたらいという考えではなく、人に
 対する思いやりをもって人のお役に立つ人
 をめざしてほしいと思います。

今春、県立氷上高等学校校長から本校に転
 勤された児玉敏男校長とお話しさせていた
 だきましたが、教育への情熱あふれる取り組
 みは素晴らしいものを持たれ、大きな期待を
 持ちました。

今の県尼の現状は特色ある学校づくりの
 一環として「県尼発、先生への道」に取り組
 み、広く人材育成につとめておられます。こ
 のような県尼の素晴らしい歴史と伝統を今
 後も大切にしていきたいと思えます。

「未来に向けて」



校長

児玉 敏男

このたびの人事異動で丹波市の県立氷上高等学校校長より県立尼崎高等学校第30代校長として着任いたしました児玉敏男と申します。

会員の皆様におかれましてはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃は本校の教育活動についてご支援を賜り厚くお礼を申し上げます。

ところで、前任校は昭和22年に開校した70年の歴史を持つ学校でした。創設時は戦後の動乱により設立が危ぶまれる状況の中、地域の熱望に支えられ、教員と生徒とが自らの学校は自らの手で、と校地の開墾や建材運び等を行ったという歴史がありました。片や本校も設立に際し地元住民や地元企業の自らの学校は自らでといった熱望により開校を迎えたという歴史を持っています。両校に共通する精神として「自立創造」の熱き闊達な思いが貫かれており、今回の異動に極めて運命的なものを感じるとともに、県立尼崎高等学校の九五年の歴史を鑑み、一層身の引き締まる思いでいるところです。

今、私たちが暮らす現代社会は、少子高齢化、グローバル化、産業のIT化・高度化、人工知能の台頭等により、世の中が非常に早く変化し先が見えにくい時代だと言われています。しかし、このような時代にこそ本校の建学の精神や校訓「自主・根性・聡明」が「生きる力」としての価値をますます高めていくと私は考えます。未知の世界を前にしても、困難に屈することのない「根性」を持ち、「自主的」に道を切り拓く。新しい変化に適応するために生涯にわたり学習を続け知識を増やし、それを元に自らの頭で考える「聡明」さを持つ。そしてしっかりと社会的自立ができる力が現代を生きる私たちに求められています。

本校のこの10年間は、「県ニルネサンス」と名を打ち、学校改革に取り組んできました。平成20年度には学校の特色として「県尼発 教師への道」をキャッチフレーズに「教育総合型」を導入、平成26年度には「教育と絆」コースへと改編され、将来教育現場で中心的に活躍できる人材の育成を行っています。また、この間、県教育委員会から「学力向上推進プロジェクト」事業の研究指定を受け、授業及び評価方法の改善、個に応じたクラス編成等の取り組みを進め着実に前進し続けてきました。さらには、普通科の高校としては他に例を見ない1年生全員によるインターンシップや地域での世代を超えたふれあいを念頭に置いた「ふるさと貢献活動

事業」での取り組み等、学力のみならず全人格形成に向けた教育活動を推進し一定の成果を上げているところです。

その学校の歴史は、その学校独自の文化を生み出し、その文化はその学校の生徒を育みます。創設時の「自立創造」の精神は、校訓「自主・根性・聡明」として引き継がれ、長い歴史の中で脈々と伝わり本校の学校文化の礎となっています。この精神を根本に据え、これまでの教育活動の検証をへて、時代に応じた教育を推進し未来に生きる生徒の育成に邁進したいと考えています。

結びに、同窓会並びに会員の皆様方のますますのご発展をお祈り申し上げますとともに、今後とも本校教育に対しご理解とご支援を賜りますことをお願い申し上げます。

2018 県立尼崎高校
オープン
ハイスクール

第1期 7月14日(日) 10:00開始
【教員と絆コース】説明会
7月28日(日) 10:00開始

第2期 9月22日(日) 10:00開始

第3期 11月10日(日) 10:00開始

個別説明会 7月23日(土)～7月27日(日)

兵庫県立尼崎高等学校

〒690-0804 尼崎市北大物町1丁目1号
TEL:06-6401-0643 FAX:06-6401-0645
http://www.hyogo-c.ed.jp/kenema-hs



「二年目を迎えて」



教頭

中川 透

「県尼」に赴任して二年目を迎えています。この一年間で県尼生の輝く姿をたくさん見てきました。その一端をご紹介します。

学業面では、三年生の粘り強い努力が印象に残りました。冬休み中も補習や自習で少なからぬ人数が毎日のように登校し、学年団の教員もそれをバックアップしました。多くの同級生が進路を決めた後も、国公立入試や三月入試に向けて遅くまで学習に取り組む姿が見られました。志望校を射止めたときには、生徒と教員一緒になっての歓声が職員室に響き渡ったものです。普段の学習の中で各教科がもつめる課題や小テストなどにも、どの学年の生徒もすなおに取り組んでいます。

部活動にも自主的・意欲的に取り組む生徒が多く見られます。運動部では、近畿大会へ水泳部の一人が進出し、他にも多くの部が総体や新人大会等で県大会への出場権を獲得しました。文化部でも活発な活動を見せている部が多く、県大会へ進出したり、さまざまなコンテストへ出場・出品したりしています。さらに地域貢献活動にも積極的に参加しています。

文化祭のハイライトは合唱コンクールです。事前に行われる学年大会を勝ち抜いた代表はどのクラスも美しいハーモニーを響かせ、レベルの高い競いになります。同窓生の皆さまも、是非足をお運びください。

このように挙げていくときりがありませんが、特筆すべきは地域と結びついた取り組みの数々です。尼崎の北堀運河で毎年行われる運河博覧会に教育と絆コースの1年生と吹奏楽部が参加し、オーブニング演奏と

パフォーマンスや模擬店の出店等を行っています。尼崎の森中央緑地での21世紀の森構想には教育と絆コースの2年生が参加し、植樹を始めてから10年が経ちました。昨年度は尼崎市の事業である「あまらぶチャレンジまちづくり」に生徒会が中心となって参加し、近隣の小学生と保護者を招いて「みんなで遊ぼうミニ運動会」を企画、実施しました。大勢集まってくださり好評を博しました。本校独自の企画には、地域のさまざまな年齢層との交流を図った「インターピープル」があります。保育園児やお年寄りをお招きして、教育と絆コース生徒や文化部の生徒らが趣向を凝らしてお迎えしています。

「県尼」は長い伝統の中でしっかりと地域に根づいています。そして「県尼」での三年間を精一杯生きていく「県尼生」の姿は昔も今も変わりありません。私ども教員は彼らをサポートしつつ、逆に若い彼らから刺激を受けながら、「県尼」の新しい伝統づくりに生徒とともに歩んでまいります。

「母校県尼に赴任して」



中野 裕司 (52 回生)

同窓会の皆さまはじめまして、この4月に県尼に赴任いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

私が県尼を卒業したのは約40年前、まだ通用門をくぐると、ドイツ式洋風校舎があり、その当時の先生から遠足で見学に来られるぐらい有名な建物であることを聞かされたことを思い出します。しかし、その校舎も取り壊され、新校舎に変わり、少し寂しい感じでしたが、ただ在学中と変わっていないのは、体育館、中館、東館校舎の中が当時のままなのが懐かし、いろいろな出来事を思い返しています。また制服が男子

詰め襟、女子エンジのネクタイにベストで県尼の制服に憧れて入学していたことも記憶しています。現在、新制服に変わり、可愛らしい雰囲気を感じます。校舎や制服は変わっていますが、生徒と接していると自分が在学していた40年前と変わらず素直で人懐っこい生徒が多いです。

今年、創立95年を迎え、さらに伝統県尼を繋いで行くために、73回生の生徒とともに歩めることを大変うれしく、頑張っていると思うております。これからも母校を温かく見守っていただき、更なるご支援をいただきますようよろしくお願いいたします。

「校内理事になって」



田村 秋穂 (66 回生)

この度は県立尼崎高等学校の創立95周年を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。

66回生かつ教育総合類型2回生で平成25年に県立尼崎高等学校を卒業した田村秋穂です。学生当初から教師になる夢を追いかけながら教育類型の授業を通して、例えば大学で授業を受けたり、小学校で模擬授業を行ったりと県尼でしかない経験ができました。そして卒業から5年たった今、講師として母校に勤めることになりました。私が今ここで講師ながらも教壇に立ち、生徒に授業ができてるのは県尼で培った経験があるからです。県尼に講師として帰ってきたとき、建物の匂いや吹奏楽部の練習している音が聞こえてきて高校時代の記憶がふと蘇り、とても懐かしく感じました。今度は私が多くの県尼生を育てていく立場になりました。今の生徒が県尼生として誇りが持てるように県尼のOGとして手助けしていきたいです。



クラブからの寄稿

吹奏楽部顧問 山下 千尋

吹奏学部は現在、3年生11名、2年生12名、1年生7名の計30人で活動しています。主な活動内容は、吹奏楽コンクールやアンサンブルコンテスト、学校行事での演奏、地域からの依頼演奏などです。また、保育・幼稚園児や小学校低学年の児童などを対象にした「親子で楽しむファミリーコンサート」も毎年開催しています。このコンサートでは音楽劇を披露しており、部員が指揮を執ってさまざまな演出にも力を入れています。さらに、毎年9月にあましんアルカイックホール・オクトで定期演奏を行っています。吹奏楽曲のみならず、合唱やアンサンブルなども交えたステージを展開しています。そして昨年度は、甲子園出場を果たした鳥取県代表の米子松陰高校から声をかけていただき、甲子園で野球応援をするという大変貴重な機会を得ることができました。



また、兵庫県高等学校総合文化祭「吹奏楽部門」では、演奏他、生徒が大会役員を務めるなど、さまざまな場面で活躍するようになってきました。

今後も部活のモットーである「笑顔」を忘れず、地域の皆様方に愛されるクラブを目指し、日々練習に励んでいきたいと思えます。これからも変わらないご支援を賜りますようお願い申し上げます。

男子バドミントン部顧問 古川 和摩

男子バドミントン部は、3学年合わせて36名という、他の部活と比べてもかなり人数の多い部であります。平日使えるコートは限られていますが、ペアごとにコートに入る時間を割り振って練習をしています。生徒同士の仲がよく、試合中のプライを見てアドバイスをしたり、コートに入っていないときは審判を行ったりといった姿が見られます。このように切磋琢磨しながら練習に打ち込んでいる生徒たちですが、先日開催された阪神地区大会では、団体戦は準優勝、シングルスでは1人が優勝し県大会出場権を獲得、またダブルスでも2組が県大会出場権をかくとくすることができました。このような結果を出せたのは、生徒たちの日々の努力が実ったことはもちろん、日常生活において生徒を支えてくださった保護者の皆様のご協力があったことだと実感しております。この場をお借りしてお礼を申し上げます。今後とも精進して参りますので、応援よろしくお願いたします。



平成30年度 教職員異動一覧表 H30.4.6

No	転出者		転入者		
	職名	名前	職名	名前	教科
1	校長	辻井嘉介	校長	児玉敏男	(国語)
2	主幹教諭	松岡昭彦	教諭	竹原潤一	芸術(美)
3	教諭(再)	蓬萊裕史	教諭	立石加奈子	国語
4	教諭	濱口雅教	教諭	田藤泰裕	国語
5	教諭(再)	高田久子	臨時講師	吉川和摩	地歴公民
6	教諭	岡 翔太	教諭	大津直傑	理科
7	臨時講師	豊川雄輔	教諭	寺尾亜由美	理科
8	教諭	白井健三	臨時講師	石井 宏	理科
9	教諭	中尾 潤	教諭	永田和伸	保健体育
10	教諭	高橋幹夫	教諭	阪上真一	保健体育
11	教諭	小森絹代	臨時講師	田村秋穂	外国語
12	教諭	小山佳子	教諭(再)	長尾 靖	外国語
13	教諭	正井晴代	教諭	坂本敦裕	情報
14	臨時講師	大川龍輝	教諭	西田砂織	地歴公民
15	講師(嘱託員)	家門貴之	教諭	中野裕司	保健体育
16	主査	阿比留理恵	課長補佐	中田裕子	
17	事務職員	高橋 共	事務職員	大島沙記	
18	臨時事務職員	中村久美子	臨時事務職員	神足美和	
19	臨時校務員	芝野武志	臨時校務員	渡邊哲司	



© Can Stock Photo

県尼生の活躍 平成29年度クラブ活動記

《運動部》

●剣道部

- ・阪神大会個人戦出場
- ・阪神地区高等学校新人剣道大会個人戦出場

●サッカー部

- ・兵庫県高等学校総合体育大会サッカー競技
4回戦(ベスト32)

●水泳部

- ・尼崎市民選手権
男子200m平泳ぎ 1位 段島 颯人
男子200mフリーリレー 1位(田淵・宮本・高土・渡瀬)
- ・第60回県高等学校ジュニア選手権
男子50m背泳ぎ 7位 高土 寛一朗



●卓球部

- ・尼崎市長旗出場
女子シングルス ベスト8 神農 美月
女子ダブルス ベスト8 神農・窪田ペア
- ・兵庫県高等学校新人卓球大会 阪神地区予選会出場
女子ダブルス ベスト16 加藤・川島ペア
男子団体 ベスト8

●男子ソフトテニス部

- ・尼崎市総合体育大会 団体戦 6位

●女子ソフトテニス部

- ・兵庫県高等学校総合体育大会阪神支部予選
個人 ベスト8 中村・加藤ペア 県大会出場
団体 県大会出場
- ・尼崎市総合体育大会
個人戦 ベスト4 碓・坂口ペア

●男子バスケットボール部

- ・第48回 全国高等学校バスケットボール選抜優勝大会
兵庫県予選 2回戦進出

●女子バスケットボール部

- ・第61回 兵庫県高等学校総合体育大会 2回戦進出

●男子バレーボール部

- ・阪神春季リーグ 4部優勝 3部昇格

●女子バレーボール部

- ・阪神春季リーグ 4部 2位

●野球部

- ・高等学校野球選手権兵庫大会 2回戦進出

●ラグビー部

- ・兵庫県高等学校新人戦ラグビーフットボール大会
ベスト8

●陸上競技部

- ・第69回 兵庫県高等学校コース陸上競技対校選手権大会
1年男子三段跳 亀井 公平、島上大哉
2年女子走幅跳 林 実葉、盛紗 来良



●男子ハンドボール部

- ・阪神地区春季リーグ戦 3部 1位
" 2部得点王 3年 山崎 隆世

●女子ハンドボール部

- ・阪神地区春季リーグ戦 2部 2位
" 2部得点王 3年 青谷 咲希

●男子バドミントン部

- ・阪神高等学校バドミントン選手権大会
個人単…5位 島田 県大会進出
- ・阪神高等学校新人バドミントン選手権大会
団体…優勝 県大会出場(2回戦進出)
個人複…ベスト4 島田・佐藤ペア
個人単…3位 島田 県大会出場



●女子バドミントン部

- ・阪神地区新人選手権大会
個人シングルス…高野 ベスト32 6回戦(県出場決定戦)進出
- ・第63回 尼崎市高等学校総合体育大会
団体戦 ベスト4 4位

●柔道部

- ・総体阪神地区大会 個人戦出場 橋本 涼汰

《文化部》

●軽音楽部

- ・第38回 高校・中学校軽音楽系クラブコンテスト
We are Sneaker Ages 予選
- ・第41回 兵庫県高等学校総合文化祭文化部合同発表会
軽音楽部門選考会

●演劇部

- ・平成演劇教育委員会 演技・演出技能検定
基礎練士 2級、BB検定 体育会系部門 2級、
BB検定 社会派部門 3級

●書道部

- ・第41回 兵庫県高等学校総合文化祭書道展
(特選) 藤井 佑香
(入選) 奥山 愛音・大山千尋・望月美駒

●茶華道部

- ・喜楽苑訪問
- ・インターピープル呈茶会

●吹奏楽部

- ・第40回 兵庫県吹奏楽コンクール東阪神地区大会
高等学校A 出場
- ・第27回兵庫県アンサンブルコンテスト東阪神地区大会
木管三重奏 金賞受賞、クラリネット三重奏 金賞受賞
金管八重奏 銀賞受賞、サクソ三重奏 銀賞受賞

●美術部

- ・ハイスクールノートチャリンステッカーデザインコンテスト
最優秀賞 高橋 美羽 (1年)
- ・第29回読書感想画兵庫県コンクール
優秀賞 野原 鱗奈 (1年)
- ・明るい選挙ポスター (尼崎市)
特選 福島 佑菜 (2年)



●JRC部

- ・尼崎市成人の日のつどいボランティア等参加

兵庫県立尼崎高等学校創立95周年祝賀会を迎えるにあたり

実行委員長 大西俊樹

大正12年に尼崎市立中学校として設立され、その後県立中学校を経て戦後、男女共学の現在の県立尼崎高等学校になり、今年11月17日(土)13時からホテルニューアルカイクに於いて、創立95周年に伴う同窓会の祝賀会が開催される運びとなりました。

約3年前から、この祝賀会のための実行委員会を12名の方々に立ち上げ、いろいろと協議を重ねて参り、以下のことを決定いたしました。

◎記念事業

1. 母校県尼への寄贈(本館2階調理実習室空調設備)

H30.5.27 完工



2. 同窓会ホームページの新規開設と会員へのID及び会報発送

◎95周年祝賀会 下記の予定で、執り行います。

第一部(式典) 13時 開始

◎黙祷 ◎挨拶 ◎来賓紹介 ◎贈呈式 ◎講演

第二部(祝賀会) 13時30分～

◎挨拶 ◎乾杯

◎歓談・会食

・恩師紹介・校歌・応援歌斉唱 ・あまゆーずコンサート他

◎閉会の挨拶



尚、会費はお一人一万円です

是非、多くの方が参加していただきますように、お願い申し上げます。

会場スペースの関係で、収容上限300名と考えています。300名に達した場合、締め切り前にも受付を停止します。但し、受付停止後のご入金には返金致します。

「県尼同窓会ホームページのリニューアルにあたって」

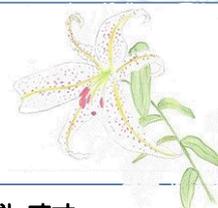
ホームページ管理委員会 野口富也

県立尼崎高校は、今年、創立95周年を迎えます。それを記念して同窓会のホームページを一新することになりました。

そこで、様々な機能を取り込んで皆さんの利用の便を図ることにした訳です。新しいホームページでは、相互情報交換的な要素があり、会員と理事、会員同士の情報交換が可能となり、より活発な書き込みが起ることが期待されます。すなわち、次のようなことができます。

掲示板機能

- 1.告知掲示板として
- 2.先輩・現役生の活躍などのお知らせ機能
- 3.会員住所などの確認・追加・修正などの会員情報



最後に、ホームページ活用にあたって注意すべき点を記載します。

- 1.この場合は公の場とってください。
- 2.私的なことや無責任な話、他人を一方向的に非難するような内容は、ホームページ管理委員会の判断で、削除させていただくことがあります。
- 3.自分の個人情報を無防備に書き込むことも避けてください。特に、携帯電話番号やメールアドレス住所などの書き込みは十分注意ください。

まずは、同窓会ホームページをご覧ください。そして情報がありましたら、勇気をもって一度書き込んでみてください。

県尼同窓会ホームページのアドレス

<http://www.web-dousoukai.com/kenama/>
E-mail:kenama@web-dousoukai.com



同期会便り

兵庫県立尼崎高等学校
第42回生学年同窓会

兵庫県立尼崎高等学校
第43回生学年同窓会

文責：中山 勝嗣

平成29年9月2日(土) 尼崎市商工会議所7階ホールにて兵庫県立尼崎高等学校第42回生同窓会が鳥井会長の呼びかけで開かれました。同窓生69名、恩師1名が集い盛大に催されました。まず鳥井会長の開会の辞に始まり、校歌斉唱のあと、物故された同窓生に黙禱、恩師の挨拶の後、乾杯の合図とともに、歓談へと進みました。遠方から駆け付けた同窓生もいて、テーブルに並んだごちそうも目に入らないほど当時の話題に熱が入り、しばし高校時代に逆戻りして大いに旧交を温める事ができました。楽しいひとときは瞬く間に過ぎ、やがて応援歌を歌い閉会の辞をもって和やかなうちに閉会となりました。それぞれの旧友との別れを惜しみながら、次回の再会を誓い合い二次会へと散会して幕をとじました。

文責：上野(小野)晃司

平成30年6月9日(土)午後、檢垣巧先生、寺村彬先生にお越しいただき、43回生48名が集う同窓会を尼崎商工会議所701号室で開催しました。くじ引きで6テーブルに分かれ、会食をしながら思い出話に花を咲かせました。あっという間に3時間が過ぎ、最後に校歌を斉唱し、再会を誓ってお開きとなりました。



兵庫県立尼崎高等学校同窓会役員名簿

名誉会長	中馬	勇	(18回生)	常任理事	大西	俊樹	(42回生)
会長	石井	良昌	(36回生)	常任理事	井上	正夫	(42回生)
副会長	大附	多美子	(23回生)	常任理事	上野	晃司	(43回生)
副会長	高岡	久	(31回生)	常任理事*	木村	成二	(44回生)
監査	池辺	善夫	(36回生)	常任理事	前田	雅二	(45回生)
監査	山中	潤一	(51回生)	常任理事	奥村	純一	(45回生)
理事長	柴田	侃一	(36回生)	常任理事	津田	加寿男	(47回生)
常任理事	吉竹	昌之	(19回生)	常任理事	黒川	治	(51回生)
常任理事	合田	正人	(定8回生)	常任理事	丸岡	鉄也	(51回生)
常任理事	池辺	孝義	(21回生)	常任理事*	林	久博	(55回生)
常任理事	中川	敏行	(32回生)	常任理事	近藤	教敏	(61回生)
常任理事	北村	保子	(33回生)	常任理事	佐川	昌伸	(71回生)
常任理事	杉浦	誠一	(34回生)	会計	津川	圭司	(36回生)
常任理事	比嘉	芳子	(定13回生)	会計	下境	田耕治	(57回生)
常任理事	田村	信子	(35回生)	顧問・学校長*	児玉	敏男	
常任理事	坂田	清則	(36回生)	相談役・教頭	中川	透	
常任理事	吉福	末吉	(38回生)	相談役・事務長	廣内	潔	
常任理事	清水	紀美江	(39回生)	校内理事	楠田	貴至	(62回生)
常任理事	野口	富也	(39回生)	〃	中野	裕司	(52回生)
常任理事	久保	恭利	(39回生)	〃	田村	秋穂	(66回生)
常任理事	石井	生滋	(42回生)				

任期(2年) 2020.3.31 *印は新任

平成29年度 収支決算報告

(自平成29年4月1日 至平成30年3月31日)

(収支決算)		(単位:円)
収入	支出	差引残高
6,314,815	1,463,279	4,851,536

(収入)				(単位:円)
科目	収入済額	前年度予算額	比較増減	
前年度繰越金	4,673,166	4,673,166	0	
会費収入	1,641,600	1,647,000	△ 5,400	
預金利息	49	1,000	△ 951	
寄付金	0	1,000	△ 1,000	
C D 売 上 金	0	1,000	△ 1,000	
雑 収 入	0	1,000	△ 1,000	
合 計	6,314,815	6,324,166	△ 9,351	

(支出)				(単位:円)
科目	支出済額	前年度予算額	比較増減	
事務費	156,748	100,000	56,748	
会費払戻入	0	0	0	
通信費	0	100,000	△ 100,000	
クラブ振興費	250,000	250,000	0	
文化振興費	50,000	50,000	0	
入学・卒業記念品	251,748	200,000	51,748	
慶弔費	0	50,000	△ 50,000	
会報発行費	129,600	130,000	△ 400	
予備費	625,183	5,444,166	△ 4,818,983	
合 計	1,463,279	6,324,166	△ 4,860,887	

平成30年4月13日上記決算報告について公正に監査した結果、正しく執行されていることを認めました。

監査委員 池辺善夫

監査委員 山中潤一



平成30年3月31日現在財産目録

定期預金(特別利息): 5,011,996 円 (尼崎信用金庫長洲支店・口座番号004-0578966-2002)
 普通預金(特別利息): 4,851,536 円 (尼崎信用金庫長洲支店・口座番号004-4035446)
 定期預金(特別利息): 4,066,887 円 (尼崎信用金庫長洲支店・口座番号004-4035432)
 合計額: 13,930,419 円

平成30年4月13日上記決算報告について公正に監査した結果、正しく執行されていることを認めました。

監査委員 池辺善夫

監査委員 山中潤一



平成30年度 普通会計予算

(収入)				(単位:円)
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
前年度繰越金	4,851,536	4,673,166	178,370	
会費収入	1,652,400	1,647,000	5,400	306×5,400
預金利息	1,000	1,000	0	単備計上
寄付金	1,000	1,000	0	単備計上
CD売上金	1,000	1,000	0	単備計上
雑収入	1,000	1,000	0	
名簿会計(繰入)	3,000,000	0	3,000,000	
合 計	9,507,936	6,324,166	3,183,770	

(支出)				(単位:円)
科目	本年度予算額	前年度予算額	比較増減	備考
事務費	100,000	100,000	0	
通信費	100,000	100,000	0	
クラブ振興費	250,000	250,000	0	
文化振興費	50,000	50,000	0	
入学・卒業記念品	200,000	200,000	0	記念品購入費
慶弔費	50,000	50,000	0	
会報発行費	600,000	130,000	470,000	
95周年事業(空調設備)	4,000,000	0	4,000,000	
95周年事業(D) (スワード)	2,600,000	0	2,600,000	
予備費	1,557,936	5,444,166	△ 3,886,230	
合 計	9,507,936	6,324,166	3,183,770	

同窓会事業

平成29年度事業報告

1. 常任理事会 春・秋に実施
2. 学校行事への参加
入学式・卒業式に役員参加
3. 95周年記念事業実行委員会(4回)
4. 同窓会 HP 開設検討会(数社見積)
(プリンティングサービス社に決定)
5. 会報編集委員会(3回)
7月 2,000部発行

平成30年度主な事業計画

1. 常任理事会 年2回
2. 学校行事への参加
3. 95周年記念事業実施
・調理室空調設備 5月27日完工
・同窓会 HP 開設
4. 会報発行 7月発行
5. 95周年記念祝賀会(11月17日)



編集後記

今年度、県尼創立95周年を迎えます。
 会報表紙に掲載しました尼中時代の綱領碑、そして現在の校訓碑が一段と輝いて見えます。この碑は、県尼で学ぶ生徒への指針として約一世紀に亘り在校生を励まし続け、そして多くの有能な人材輩出を見送ってきたのです。県尼の揺るがない伝統と歴史を示す碑であり、改めて存在の偉大さに感銘を覚えます。そして名門校としての誇りを感じます。
 さて、学校も校内学習はもとより、校外に出て地域との交流、社会貢献活動も積極的に展開し、県尼生は逞しく活躍しています。同窓会では、事業として、一昨年はトイレの洋式化、今年は空調設備を寄贈するなど、快適な教育環境づくりに協力支援しています。
 愈々5年後には大きな節目、創立100周年を迎えます。県尼のさらなる発展に向けて、学校そして同窓会一体となった ALL KENAMA の精神で協同し、100周年に相応しい実を得たいものです。その前奏となる本年11月17日の創立95周年祝賀会には、皆様是非ご出席賜り、県尼への思いを、そして飛躍を願って、大いに語り合ひましょう。

編集委員

高岡久(委員長)・柴田侃一・池辺善夫・大西俊樹・井上正夫・上野晃司

